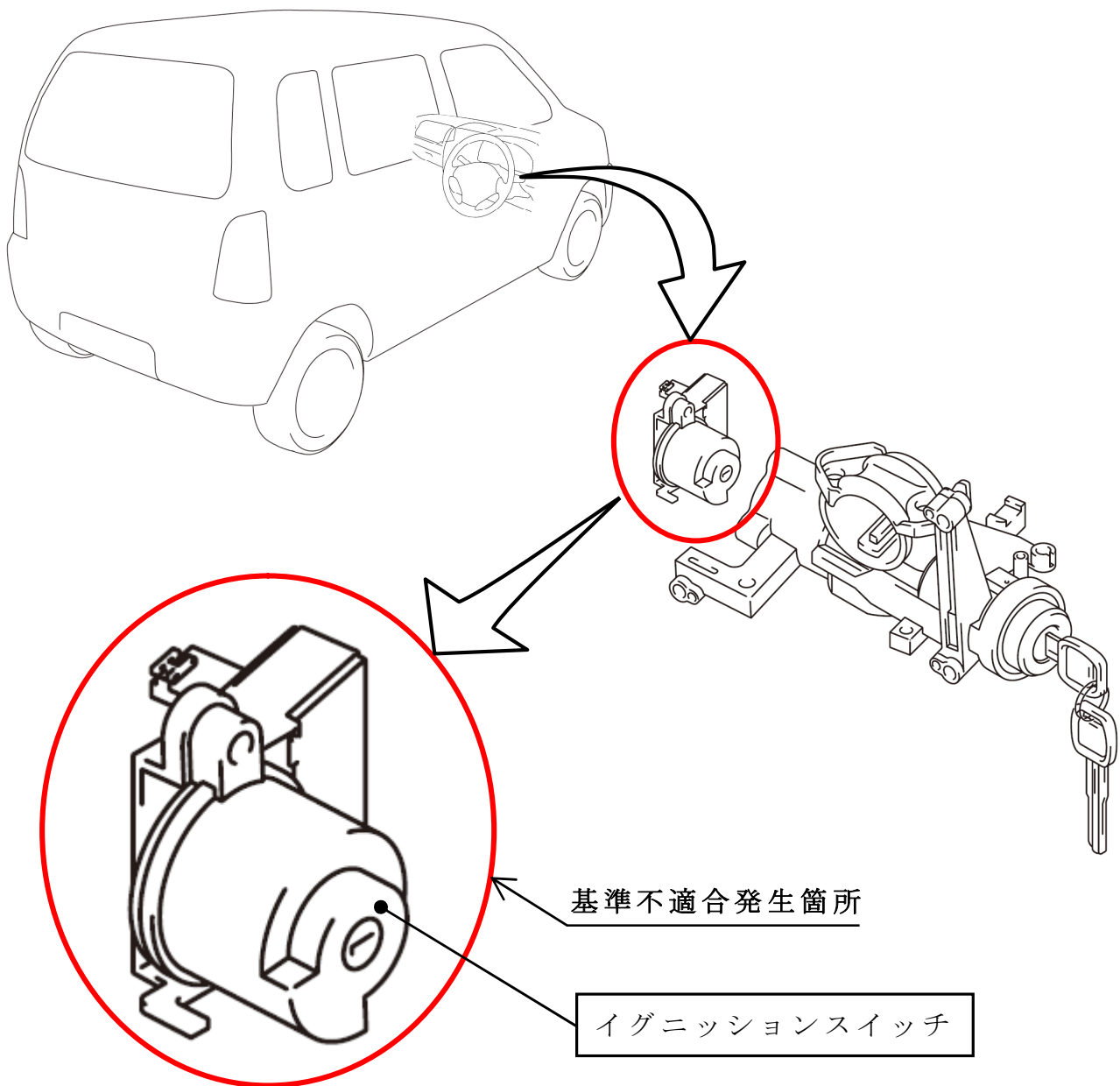


改善箇所説明図



イグニッションスイッチにおいて、接点部に使用するグリスが不適切なため、可動接点が固定接点から離れる際のアーク放電の熱によりグリスが炭化することがある。そのため、そのまま使用を続けると、グリスの絶縁性の低下と可動接点の摩耗による金属粉の堆積により接点間が導通し、発熱することでグリスが発煙し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、イグニッションスイッチを対策品と交換する。

識別：IDプレートに緑色のシールを貼付する。

注： は、交換する部品を示す。